

大麻東中校区の小中一貫教育

江別市立小中学校では「目指す子ども像」を実現するための重要な政策の一つとして、令和4年度に江別第二中学校区、令和5年度に市内全小中学校に「小中一貫教育」を導入しました。

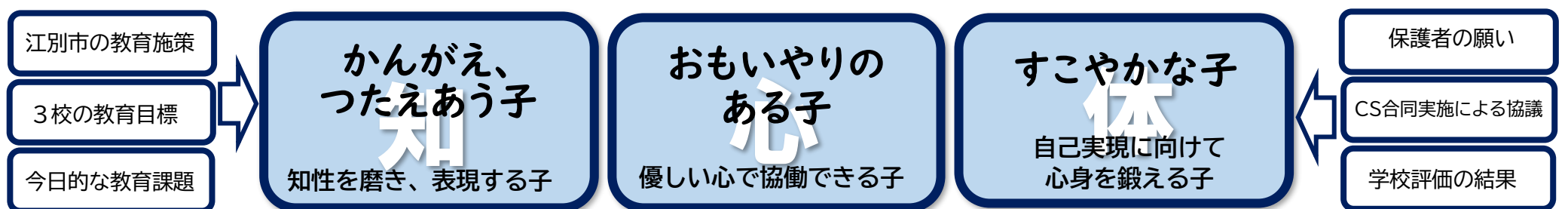
小中一貫教育では、中学校区の実態・特色を踏まえた「中学校卒業時点の姿（中学校区の目指す子ども像）」を、学校・地域・家庭が共有しながら義務教育9年間を通じて子ども達を育てます。そのために、学習や学校生活の基本的なルールを中学校区で揃えるなどの『一貫した指導』と、9年間を見通した授業による『系統的な指導』を行い、中学校体験登校など『相乗的・補完的な指導』の取組を行います。

【江別市の目指す子ども像】

夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて 行動する子ども

【大麻東中学校区の小中一貫教育グランドデザイン】

◆中学校区の「めざす子ども像」



◆中学校区における中間目標 自己実現を図りながら、よりよい地域の創り手としての素地を身に付ける子どもの育成

◆各段階の指導目標と評価指標

幼保こ小連携	中2～中3		
	小5～中1		「未来を切り拓く知性を磨く」
	小1～小4	「他律から自律へ・責任の全う」	●自ら学び続ける習慣の定着を図る ●自己選択・自己決定の力を磨く ●チームの力を作り出す習慣付け ●自治活動を通じた自己有用感の高揚 ●自己実現に向けた気力の充実 雰囲気醸成
	「社会性の基礎を身に付ける」 ●学習に必要な技能・ルールの指導 ●読み書き指導・身体機能の育成 ●支援を要する児童への早期対応	●宿題と家庭学習の両立、移行を図る ●教科担任・乗り入れによる意識の向上 ●事実・具体から理論・抽象へ 思考を鍛える ●望ましい人間関係の構築に向けた指導	
「担い」「認め合う」ことで自他を尊重する態度を育成する			
【小】話し合いを通じて自分の考えを深めることが出来ている。85% 【中】授業で友達や先生の考えを聞いて、自分の考えを深めている。85%	【小】いじめがなくなるように進んで考え、行動できている。95% 【中】いじめを許さないという意志を持ち、生活している。95%	【小】自分を伸ばすための努力をしている。90% 【中】自分から進んで笑顔で挨拶するように心がけている。90%	

◆各部の取組の概要

教育課程部	学力部・体力部	生徒指導部・特別支援教育部	児童生徒会指導担当
●資質・能力の重点化 ●課題のある学習内容の共有と年間指導計画への反映 ●各教科等領域の系統性整理 ●乗り入れ指導の検討と実施 ●中学校体験の検討と実施	●学習スタンダードの啓発と見直し ●諸調査結果の分析・共有 ●ICT 活用の情報共有 ●自学自習に向けた指導 ●体力テストの合同実施 ●部活動体験の実施	●生活スタンダードの啓発と見直し ●通学路の安全確保 ●児童生徒の実態把握 ●特別支援学級間の交流 ●児童生徒理解に関する意見交流	●リモートあいさつ運動の実施 ●相互の取組の共有 ●文化的行事作品の交流 ●合同の取組の企画と実施 ●児童会、生徒会、委員会だより等の交流

【大麻東中学校区の生活規律スタンダード・学習規律スタンダード】

小5 ～中1	整える	・授業の前に次の学習用具の準備をしておきます。
	学ぶ	・ノートに「課題」「まとめ」を書き、授業で学習したことを確認します。 ・授業では集中して発言者の方を向いて、先生や友だちの意見から学びます。
	伝え合う	・発言や発表は進んで行い、友だちの発言を認め合い、真剣に聞きます。 ・授業で調べたり考えたり話し合ったりする場面では、自分の考えと照らし合わせながら考え、積極的に取り組みます。
	振り返る	・自分に必要な学習課題を見つけて、家庭学習に取り組みます。
中2 中3	整える	・授業に集中できる準備をしておきます。
	インプット	・板書の内容を書き写すだけではなく、大切だと思ったメモもノートに記入していきます。 ・授業では集中して発言者の方を向き、心で話を聞くことができますようにします。
	アウトプット	・学習してきたことを活用して、課題を見つけ話し合い、学び合いをします。
	振り返る	・テスト返却後、間違いを見直し、先生の説明をよく聞き、理解するまで繰り返します。

